



2023-2024 ガバナー月信
GOVERNOR'S
Monthly Letter



© 中山仁史 / K2



地域に希望を育てよう！

国際ロータリー第2510地区 2023-2024年度ガバナー 松浦 光紀

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail: rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>



国際ロータリー第2510地区

2023-2024年度地区目標

「地域に希望を育てよう」

1. クラブの戦略計画を打ちたて、会員増強を実現しよう
2. ポリオデーに参加しよう
3. 地域に根ざした青年奉仕を充実させよう
4. オンリーワンチャレンジをみつけよう

・ ガバナーメッセージ	1p
・ 2025-26年度RI会長にデ・カマルゴ氏が選ばれる	2p
・ ガバナー公式訪問報告	3p
・ 新会員の紹介、7月財団・米山記念奨学会寄付	14p
・ ハイライトよねやま	15p
・ コーディネーターニュース	17p
・ 7月会員数・例会数報告	20p
・ ガバナーノミニー広場の開設のご案内	21p
・ 地区大会のお知らせ	22p
・ 地区カレンダー9・10月	23p
・ 2026-2027年度ガバナーノミニー候補者推薦のお願い・ガバナー事務所からお願い	24p
・ ガバナー事務所だより・編集後記	25p
・ 表紙の解説	26p



ガバナーメッセージ

国際ロータリー2510地区
ガバナー

松浦 光紀

(小樽南 RC)

7月18日から地区内各クラブ会員の皆様への公式訪問をスタート致しました。1日1クラブ若しくは2クラブ訪問させて頂いています。8月末日で28クラブ会員の皆様に訪問する予定で活動を続けております。クラブ訪問計画の約40%の進捗になります。クラブ訪問で私は、いずれのクラブ会員にも、大変暖かく迎え入れられていると感じております。このことには、地区活動に於ける先輩諸氏の活動実績の賜物として感謝いたします。クラブの現況報告や委員会活動計画など発表を頂きました。各クラブとも非常に熱心に活動されており、私の心に強く響くものが有りました。クラブ活動の内容は多岐に渡りますが、クラブの奉仕活動の中で、認識が少し不足していることに気づきました。それは、活動を広報する場合ソーシャルメディアを積極的に活用するという事です。6月に小樽市で田中久夫(高崎 RC)講師による、クラブ活性化ワークショップセミナーに繋がる考え方ですので、活動目的の中に加えて頂ければ幸いです。クラブの委員会構成について、従来からの構成を引き継いでいるクラブが多いように感じました。クラブを取り巻く環境の変化に対応する組織の見直しも必要では無いかと考えました。クラブの伝統と刷新との組み合わせ

がクラブをより進化するのではないのでしょうか。8月20日(日)砂川で開催された、ローターアクト地区協議会に参加させて頂きました。次世代を担う集いであり、活動計画は強い情熱を感じました。更に、彼らの奉仕活動を充実したものの為には、関係者及び関係する地区委員会の協力も欠かせないものように思いました。8月26~27日に赤平で開催された、地区親睦野球大会に参加させて頂きました。参加クラブは、赤平 RC、岩見沢 RC、静内 RC、滝川 RC、伊達 RC、のチームが参加されました。26日は監督会議や前夜祭が開催されましたが、翌日に強い雨や雷等の天気予報が入り、監督会議で、会員の健康と気象条件とを鑑み、残念ながら大会は中止することになりました。一方前夜祭については、予定通りに開催されました。松尾ジンギスカンの焼き肉パーティーに始まり、赤平ローターアクトクラブのご協力により、参加クラブ紹介や始球式、ローターアクターによる歌や踊りがあり、大変盛り上がった前夜祭となりました。来年は小樽市での開催が決定との発表があり、大変楽しみにしています。大会にて、お世話になりました関係者の方々に感謝申し上げます。素晴らしいひと時を体験させて頂きました。



2025-26 年度国際ロータリー会長に ブラジルのデ・カマルゴ氏が選ばれる

サントアンドレ・ロータリークラブ（ブラジル、サンパウロ）会員のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が、会長指名委員会によって2025-26年度国際ロータリー会長に選出されました。対抗候補者がいない場合、9月15日に正式にノミニーとなります。

デ・カマルゴ氏は、トップダウンでロータリーの公共イメージを強化したいと考えています。「今日のロータリーは、入会者と資金の面で競合相手が多く存在する」とデ・カマルゴ氏。「特にいくつかのゾーンにおいてブランドを若返らせる必要があり、会長が世界中のロータリアンに向けて話せるように、コロナ禍で学んだ会議ツールを活用するべきです。また、政治、コミュニティ、ビジネスのリーダーとの長期的パートナーシップを確立する必要があります。私たちの最大の資産である140万人のボランティアの存在をアピールしていきましょう」と述べます。

デ・カマルゴ氏は任命とガバナンスのためのロータリーの手続きを改善したいとも考えています。「ロータリーは、役職に任命する際のシステムをより透明性のあるものとし、明確な資格要件を設け、データに基づいて結果を評価するべきです」デ・カマルゴ氏

GraficaBandeirantesの元社長であり、ブラジルにおける印刷業界のコンサルタントを務めています。印刷とグラフィック業界の関連団体で会長や委員長を歴任し、これにはブラジル・グラフィック・テクノロジー協会やブラジル・グラフィック産業協会が含まれます。

所属ロータリークラブがスポンサーしている障害のある子どもたちのためのプロジェクト、Casa de Esperanca（希望の家）の理事も務めており、このプロジェクトで毎年、15万人の障害児を支援しています。

米国ならびにドイツに留学経験があり、EAESP-Fundação Getúlio Vargasからビジネス、Faculdade de São Bernardo do Campoから法学の学位を取得。1980年にロータリー入会。国際ロータリー理事、ロータリー財団管理委員、RIラーニングファシリテーター、委員会委員と委員長、タスクフォースメンバーを歴任し、妻デニースさんとともにメジャードナー、ロータリー財団ベネファクターとなっています。

2025-26年度国際ロータリー会長を選ぶ指名委員会のメンバーは次の通り：

Larry A. Lunsford（委員長、Kansas City-Plaza ロータリークラブ、米国）、Mary Beth Growney Selene（幹事、Madison West Middleton ロータリークラブ、米国）、Şafak Alpay（Istanbul-Sisli ロータリークラブ、トルコ）、Ann-Britt Åseb（Falun-Kopparvågen ロータリークラブ、スウェーデン）、James Anthony Black（Dunoon ロータリークラブ、スコットランド）、Basker Chockalingam（Karur ロータリークラブ、インド）Celia Cruz de Giay（Arrecifes ロータリークラブ、アルゼンチン）、Susan C. Howe（Space Center [Houston] ロータリークラブ、米国）、黒田正宏（八戸南ロータリークラブ、日本）、Roger Lhors（Pont-Audemer ロータリークラブ、フランス）、Frederick Hsiu-Ming Lin（Taipei Tungteh ロータリークラブ、台湾）、Anne L. Matthews（Columbia East ロータリークラブ、米国）、三木明（姫路ロータリークラブ、日本）、Eun-Soo Moon（Cheonan-Dosol ロータリークラブ、韓国）、Ekkehart Pandel（Bückeburg ロータリークラブ、ドイツ）、Sambasiva Rao Patibandla（Jubilee Hills ロータリークラブ、インド）、Steven Snyder（Auburn ロータリークラブ、米国）

ガバナー公式訪問例会報告

深川ロータリークラブ

7/18

ラ・カンパニューホテル深川にて松浦光紀ガバナーに公式訪問をいただきました。随行として廣部隆夫地区財務委員長にもお越しいただき、今年度当クラブより出向している成田雅敏ガバナー補佐と大西祥太補佐室長同席のもと、10:30より会長・幹事会を行いました。例年のことながら地区で最初の公式訪問で、和やかな雰囲気のもと、松浦ガバナーから今年度の地区目標と重点項目を中心にお話をいただきました。折に触れ当クラブの現状についてもご紹介する機会をいただきました。11:30からはクラブ協議会で、当クラブの各委員長から年間の活動計画が発表され、ガバナーからの講評のお蔭で委員長としての自信を持てた顔つきになりました。12:30から例会で卓話をいただき記念撮影を行い、一時解散。つかの間の休憩の後、田中昌幸深川市長を表敬訪問し、随行を桂正俊地区幹事にバトンタッチして歓迎会を行いました。

深川の地で夕食の歓迎会が開催されるのは久しぶりで、戸惑いもありましたが、ガバナーのお人柄のお蔭で二次会まで、数多くの大切な御言葉を参加した会員と共有することが出来ました。翌日次の訪問先である留萌RCへ出発する皆様をお見送りしてガバナー公式訪問を終了しました。



留萌ロータリークラブ

7/19

7月19日、松浦光紀ガバナー、成田雅敏ガバナー補佐、桂正俊地区幹事、大西祥太ガバナー補佐室長をお迎えしてガバナー公式訪問を開催いたしました。午後4時半より会長・幹事懇談会が行われ、武田佳彦会長より当クラブの現状報告を行い、その後、午後5時半よりクラブ協議会を開催し各委員長より活動方針・活動計画を発表しました。松浦ガバナーより、会員の女性割合など留萌RCは比較的先端的な活動をしているとのことご意見がありました。

午後6時半より第2962回目の例会が開催され、本日のゲストとして松浦ガバナーよりご講話をいただきました。ロータリークラブ発足から117年が経過し、その都度変化が求められてきた。奉仕活動が地域のニーズに合っているか、インパクトのある活動が重要であること。DEIを通じて変化に対応することが求められている事など、大変重要なメッセージをいただくことができました。

例会終了後、ささやかではありますが松浦ガバナーの皆様を囲んで歓迎会を行いました。質問コーナーでは、和やかなやり取りを当クラブ会員と行なっていたいただきありがとうございました。歓迎会終了後は記念撮影を行い、ガバナー公式訪問を終了いたしました。



羽幌ロータリークラブ

7/20

本年度のガバナー公式訪問は、7月20日松浦光紀ガバナー、桂正敏地区幹事、成田雅敏ガバナー補佐、大西祥太ガバナー補佐室長の4名で、当クラブをご訪問いただきました。

本年度は、当クラブ単独での公式訪問として開催いたしました。

午前10時から当クラブの会長、会長エレクト、幹事との懇談会。10時30分からのクラブ協議会では、各委員長から活動計画及び進行状況を発表した後、松浦ガバナーから其々の活動計画に対し、感想及び具体的なご指摘、ご指導をいただきました。

12時15分からの例会では、松浦光紀ガバナーより現在の国際ロータリークラブの最新情報、並びに DEIを通し変化に対応する事の大切さを、又此れからのロータリークラブの将来を見据え30代・40代の会員増強の大切さを教えられ貴重な講話を終えられ無事公式訪問を終了いたしました。



滝川ロータリークラブ

7/20



2023年7月20日、第2510地区の松浦光紀ガバナーが滝川ロータリークラブを公式訪問されました。

当日は羽幌 RC での公式訪問を終えた後の当クラブへの訪問で、長時間の移動でお疲れのようにも見受けられましたが、会長・幹事懇談会ではクラブ運営について、具体的で熱い助言をしていただくなど、とても有意義な時間となりました。

その後に行われましたクラブ協議会では、各委員長が今年度の活動計画を熱心に発表し、特に「そらぶち支援特別委員会」の継続的な奉仕活動やコミュニティー

ラジオを使っの広報等、地域に根差した活動にご関心を示していただきました。例会では宇戸啓隆ガバナー補佐の温かいご挨拶に続き、松浦ガバナーが長期的な恩恵を与えられるようなインパクトのある奉仕活動の重要性と、クラブ内の多様性、平等性の重要性について卓話をいただきました。

松浦ガバナーの公式訪問が友好の架け橋となり、滝川 RC と第 2510 地区のクラブとの結びつきを深める素晴らしい機会となりました。

ここ滝川を含み 69 クラブを回る過酷なラリーが始まりましたが、お身体を十分ご自愛下さい。

札幌南ロータリークラブ

7/21

この度 2023年 7月 21日 松浦光紀ガバナー、第5グループ山口史朗ガバナー補佐、伊藤嘉英地区幹事をお迎えして、当クラブのガバナー公式訪問が執り行われました。

例会に先立って行われた会長・幹事懇談会では、長沢会長よりクラブ運営について具体的な活動内容を報告致しました。クラブ協議会では、各委員長・部門長から活動計画を報告致しました。その後の例会では松浦ガバナーより紛争や戦争、社会生活の中で心を病む人が増えていることを、どの様に援助していくか、私達が行っている奉仕活動について、インパクトのある内容になっているかなどRI会長の問いかけについて説明を頂きました。

また、多様性、平等さ、インクルージョンを通し若い世代と女性会員の入会に力を入れて、クラブの更なる発展と、ポリオ根絶に向け会員皆の協力をとお話を頂戴いたしました。松浦ガバナーのロータリーへの強い想いを会員一人一人の心に刻み、価値観を得る事が出来たと思われまます。

この度は当クラブへのご訪問を頂き誠にありがとうございました。



札幌北ロータリークラブ

7/24

会長・幹事懇親会 10:30～

国際ロータリー第2510地区松浦光紀ガバナー、藤城英明第4グループガバナー補佐、中山仁史地区幹事、またオブザーバーとして出村知佳子ガバナーエレクトにお越し頂き、姫野芳安会長、黒川篤会長エレクト、吉井千博幹事、林里紅副幹事の以上合計8名で開催されました。

姫野会長より札幌北RCの概要説明、クラブ内での奉仕活動や委員会活動などお話がありました。松浦ガバナーからはロータリーの広報活動について、会員増強において楽しさの定義、RIのメンタルヘルスについての捉え方など様々なアドバイスなど貴重なお話を頂き終始和やかに行われました。

第2回クラブ協議会 11:30～

姫野会長のご挨拶で始まり、中山地区幹事からも一言を頂戴し、松浦ガバナーよりご挨拶を頂きました。以後、各委員長より活動計画、現況報告があり、松浦ガバナーのご講評ではとても格式の高い発表であるとの評価をいただきました。

通常例会 12:30～

メインプログラムにて、松浦ガバナーよりロータリー経験談、また現在のロータリーについてお話を頂きました。札幌北RCについてはとても若い会員が多く、活発で協議会にも多くの会員が参加していることについて、とても雰囲気の良いクラブですね。とのお感想を頂きました。

例会終了後、ガバナーを囲み記念撮影をして終了致しました。松浦ガバナー、藤城ガバナー補佐、中山地区幹事のご来訪を心より感謝申し上げます。



赤平ロータリークラブ

7/25

7月25日(火)に、松浦光紀ガバナー、宇戸啓隆ガバナー補佐、桂正俊地区幹事をお迎えして公式訪問を開催致しました。10時からの会長・幹事懇談会では、クラブが抱えてる悩みや、問題点のアドバイスを頂き今後の活動にとっても参考になるものでした。11時からのクラブ協議会では、各委員長の発表に総評を頂きました。年度がスタートして間もない訪問だった為、各委員長が今後の方向性を定められる貴重な機会となりました。

12時30分からの例会の卓話では、RIテーマの意味や、DEI(多様性・平等さ・インクルージョン)を通した差別ない会員拡大が行われてるかとお話頂き新たな視点での活動に繋がられる大変貴重なものでございました。今後は枠にとらわれる事なくクラブを活性化していきたいと思います。また今回は赤平ローターアクトクラブも参加させて頂きアクトがあることの優位性などもお話し頂きました。終了後には全員で記念写真を撮って全てのプログラムを終えました。短い時間の中で示唆に富んだ多くのことを伝えて頂いたことに感謝申し上げます。



砂川ロータリークラブ

7/26

7月26日(水)、松浦ガバナー・宇戸ガバナー補佐・桂地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問の会長・幹事懇談会が始まり、公共イメージ向上やローターアクトクラブの設置、そして年齢の若い会員入会への取り組みについて、更に他クラブの取り組みも伺い、今後の一助となりました。

クラブ協議会は、四大奉仕の職業奉仕委員会からはじまり全ての委員会の活動を発表し、特にクラブ奉仕活動の取り組みについてご示唆頂きました。12時30分より拍手でガバナーをお迎えし公式訪問例会が始まり、松浦ガバナーの講話ではゴードン・RマキナリーRI会長より奉仕活動がインパクトのある内容になっているのでしょうか、DEI(多様性、平等さ、インクルージョン)を通して変化に対応することが求められ、入会機会の平等、年齢の若い会員や女性会員の入会はクラブ存続の上で欠かせないこと、そして、野生ポリオ根絶に向け現状と取組み、更に10月28日のポリオデーへ協力等、ガバナーの熱い思いを大変有意義に講話を頂き例会を終えました。



芦別ロータリークラブ

7/27

芦別RCでは7月27日に地区での10番目の公式訪問として松浦ガバナーをお迎えすることが出来ました。午前中の会長・幹事懇談会では和やかにRIの現状報告と芦別RCのことなどの情報交換をさせて戴きました。

続いてのクラブ協議会では各委員長より芦別RCの様々な事業についての説明や進捗状況の報告があり、ガバナーにも芦別RCの事業の特徴を紹介することが出来たのではないかと思います。例会ではガバナーの卓話を戴き、現在のRIの動きや方向性についての情報提供等を戴きました。ガバナーより直接対面でお話いただけるということは、より具体的に実感を持ってRIの会議での雰囲気や今までとの変化、新たなロータリー活動の動きなどを感じられ有意義な例会となったことを感謝致します。ガバナーに於かれましては今後も公式訪問やロータリー事業が続きます。お体を大切に自愛戴きながら一年間のご活躍をご祈念し芦別RCでの公式訪問報告と致します。



美唄ロータリークラブ

7/27

7月27日、16時30分より松浦ガバナー、桂地区幹事、第3グループ菊田ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

会長・幹事会では、伊藤会長より当クラブの近況と特徴について報告させていただいた後、ガバナーからご意見を頂くと共に、様々なご指導を頂き、なごやかで有意義な時間を過ごすことが出来ました。

クラブ協議会では、各委員長から今年度の活動計画を説明させていただき、ガバナーから各委員会へのご意見やご助言を総評していただきました。

新入会員からもご挨拶させていただきました。夜会例会前に、松浦ガバナー、桂地区幹事、菊田ガバナー補佐ならびに会員全員で記念写真を撮影した後に、伊藤会長の点鐘で、夜間例会を開催いたしました。

その後ご挨拶をいただき、会員増強が難しい昨今、地元地域以外からの入会および、地元から離れることになっても地元の会員でいることができるようロータリーの規約を変えたことのお話や、今後のロータリークラブの在り方をお話頂戴いたしました。

お忙しい中、松浦ガバナー、桂地区幹事、菊田ガバナー補佐におかれましては、当クラブに訪問していただきありがとうございました。



国際ロータリー第2510地区
美唄ロータリークラブ ガバナー公式訪問例会 2023年7月27日

苦小牧北ロータリークラブ

8/1

8月1日(火)苦小牧北ロータリークラブでは 松浦光紀ガバナーと齋藤仁地区代表幹事、高橋康則がバナー補佐をお迎えしての会長・幹事会第3回クラブ協議会、および例会を開催いたしました。

会長・幹事会では、今年度はサッカー大会、スピードスケート大会、アイスホッケー大会の3つを主催することを申し上げました。松浦ガバナーから、「大会運営に係るご父兄と懇親会を設けるなどして、積極的に会員勧誘の場とする良案をアドバイスして頂きました。

クラブ協議会では、今年度始まって間がないため、主に各委員会の活動計画を述べさせていただきました。

卓話ではDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)に関して分かり易くお話して頂きました。特に「公平さ」とはみんなが一律という事ではなく、個々の状況に合った公平さがあるんだよ。というお話がとても良い気付きになりました。松浦ガバナーの気さくで優しいお人柄に身近に触れることが出来大変楽しく有意義な時間でした。



栗沢ロータリークラブ

8/2

令和5年8月2日(水)、松浦ガバナー、石川地区副代表幹事、菊田ガバナー補佐、新館ガバナー補佐幹事をお迎えして、公式訪問が開催されました。10時30分からの「会長・幹事懇談会」では、会員となる条件の一部が改正され、地域にこだわらないで会員となる事が出来るようになったということをお話ししました。すなわち、会員として迎えることが出来る方々の幅が広がったという事です。

11時30分からの「クラブ協議会」では五大奉仕委員長から今年度の活動方針や今後の取り組み予定などを発表しました。

12時30分からの例会では、アメリカでの国際協議会でのDEI(多様性・公平さ・インクルージョン)について、国際ロータリーでは女性の割合が3割くらいですが日本で1割にも満たなく、日本でのDEIについての理解をもっと深めるための活動について、またローターアクトについてのルールが変わり、年齢の上限が無くなり、会員としての権利もロータリアンと同じになりました。18歳以上の学生や若い方々のロータリーの理解と興味を深めてきたいとのことでした。その他、様々なお話をいただき、有意義な時間を過ごせたと思います。

例会終了後、全員で記念撮影をし「公式訪問」を終えました。気温が高い中、ご来訪いただき、誠にありがとうございました。



札幌真駒内ロータリークラブ

8/2

令和5年(2023)年8月2日水曜日、松浦ガバナーの公式訪問がありました。

早い時期での訪問ということで、当クラブとしましては松浦ガバナーの公式訪問は今年度最初の大きな行事となりました。松浦ガバナー、山口ガバナー補佐、石川地区副代表幹事にお越しいただき、16時15分から会長・幹事会、17時30分からクラブ協議会、19時からはガバナー公式訪問例会と順調に進みました。

クラブ協議会では委員会活動計画を各委員長が発表し、松浦ガバナーからはロータリー活動を楽しむこと、会員増強以前にクラブのアイデンティティーが大切であること、当クラブには確立した個性特徴がありそれを活かしてほしいといった講評をいただきました。

例会は夜間例会だったことが幸いして当クラブの和気あいあいとしたいつもの姿を見ていただくことができました。食事にはアルコールも伴っていたこともあり、松浦ガバナーは各テーブルを回って会員の皆さんと気さくにお話しをして下さって、ガバナーの各クラブが主役であって地区はその力になりたいのだという思いが個々の会員に届いていました。そのほか、石川地区副代表幹事がスキージャンプをやっていて、なんとあの原田選手に勝ったこともあることが判明するなど例会も大いに盛り上がりました。お忙しい中、当クラブをご訪問いただき、ありがとうございました。



苫小牧ロータリークラブ

8/4

2023年8月4日(金) 松浦光紀第2510地区ガバナー、高橋康則第12グループガバナー補佐、拝田地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

市長表敬訪問 (10時00分 苫小牧市役所 市長室)

当クラブ名誉会員である岩倉博文市長を苫小牧市役所に表敬訪問をし、今年度の活動方針について松浦ガバナーから説明があり、その後小樽市、苫小牧市の現状と今後の方向性や課題などの意見交換を行いました。

会長・幹事懇談会 (10時30分 グランドホテルニュー王子 千草の間)

会場をホテルに移して、会長・幹事懇談会が行われ、今年度のクラブ方針の説明を行い、その後会長エレクト・副会長・副幹事を交えた中で今後のロータリー活動の在り方について意見交換を行いました。

クラブ協議会 (11時30分 グランドホテルニュー王子 桔梗の間)

第2回クラブ協議会を行い、役員・理事・委員長・新会員・オブザーバー出席の中、各委員長より今年度の活動方針を発表させて頂き、松浦ガバナーより講評を頂きました。

公式訪問例会 (12時30分 グランドニュー王子 若草の間)

松浦ガバナー、高橋ガバナー補佐、拝田地区幹事をお迎えして公式訪問例会を開催しました。松浦ガバナーの卓話ではロータリークラブ活動の重要性と意義、RI会長の方針について説明頂き、大変有意義な公式訪問となりました。また、例会終了後に同会場にて例会参加メンバー全員で写真撮影を行いました。



札幌手稲ロータリークラブ

8/5

令和5年8月5日(土)、松浦ガバナー、藤城ガバナー補佐、廣部地区財務委員長をお迎えしての公式訪問がありました。

最初の会長・幹事懇談会では、宮坂会長より当クラブの奉仕活動の主な事例として下記の事業の報告がなされました。

- ①「ロータリー杯争奪西区・手稲区中学校スポーツ大会」
- ②高校生奨学金事業
- ③「地域に花を」プロジェクト
- ④「未来ビジョン委員会」
- ⑤ZOOMを活用した例会、SNSを利用したコミュニケーション
- ⑥会員増強について

松浦ガバナーより、先にお送りした資料が非常に良くできていたこと、会長・幹事懇談会にまで式次第を用意していること、前年度7名の増強に成功したことなど当クラブの姿勢を高く評価して頂いたうえで、各活動についてお言葉を頂きました。特に、写真を使ってご説明した「中学校スポーツ大会」と「地域に花を」について、「中学校スポーツ大会」は、40年近い継続事業であっても変化に合わせて止める決断をしたことをご評価頂き、「地域に花を」は、もう1歩踏み込んだ活動で、公共イメージの向上、ひいては会員増強、活性化に繋げてほしいというお言葉を頂きました。

続くクラブアッセンブリーでは、各委員会からの活動計画を発表しました。今年度の会長方針の一つに「公共イメージの向上」を掲げており、各委員会よりその点を重視した計画案が出されましたが、先の懇談会でも仰せになったように、松浦ガバナーも「公共イメージの向上」を重要視されており、引き続き力を入れて活動して頂きたいと講評を賜りました。

次の例会では、松浦ガバナーより卓話を頂きました。現在のRIは以前と比べてとてもフランクな組織になっており、DEI(多様性・公平性・インクルージョン)が推進されている。今年度はガバナーとしてRIの方針を地区のクラブ会員の皆さまに伝え共有し、現在117年続くロータリーを150年、200年続くものとしたいと想いを語られました。

最後は出席会員との記念撮影をして、全員でお見送りさせて頂き終了となりました。松浦ガバナーの穏やかなお人柄により、終始和やかな時間でございました。心より御礼申し上げます。



札幌南ロータリークラブ

8/7

8月7日(月)に松浦光紀ガバナーと第5グループ山口史朗ガバナー補佐、伊藤嘉英地区幹事が当クラブ例会会場である札幌パークホテルに公式訪問されました。

まず、会長・幹事懇談会において、当クラブの伝統である「なごやぎの精神」(心の謙虚さ・相手を思いやる心)の理念、今年度のクラブの基本テーマや重点目標についても説明いたしました。

さらに、長年に渡り継続している「ひとり親家庭クリスマス会」など数多くの奉仕活動が行われていることに関心をもってくださり、熱心に耳を傾けて下さいました。

クラブ協議会では、各委員長が今年度の活動計画と運営方針について発表させていただいた後、ガバナーより適切な評価とアドバイスをいただきました。

公式訪問例会では、松浦ガバナーよりDEI(多様性・公平さ・インクルージョン)を通し性別・人種・職業など差別なく入会の機会が平等に運営されていくこと、さらに次世代のロータリアン獲得のための「会員増強」につながる公共イメージの向上・認知度の向上の重要性についてなど様々な貴重な講話を頂き、大変有意義な時間となりました。

まだまだガバナーの責務が続きますので、どうか御体ご自愛下さいませ。お忙しいところご訪問いただいた松浦ガバナーはじめ皆様方に感謝申し上げます以上ご報告とさせていただきます



白老ロータリークラブ

8/8

8月8日火曜日、あいにくの空模様の中、松浦光紀ガバナー、高橋康則第12グループガバナー補佐、石川稔地区副代表幹事をお迎えし、第19番目のガバナー公式訪問が始まりました。

10時30分からの会長・幹事懇談会では、当クラブの特徴をお話しさせていただき、ガバナーの適切なご指導をいただきました。続いて11時30分からのクラブ協議会では、各役職会員の話に耳を傾けていただくとともにガバナーの貴重なお話を伺うことができました。

12時30分からの例会では、暑い最中ではありますが、まずは当クラブガバナー公式訪問恒例の白老牛すき焼きを召し上がっていただき、その後のご講話で、松浦ガバナーは、ゴードンR、マッキナリーRI会長の今年度テーマ「世界に希望を生み出そう」について、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)の例を挙げ、分かりやすく継続されることの大切さをお話してくださいました。ロータリーの大きなテーマであるポリオ根絶についても、大きな金額の一部を自分が担っているという気持ちで検討いただきたいと話されました。

出席者全員が、松浦ガバナー、高橋ガバナー補佐、石川地区副代表幹事を囲んでの記念撮影をし、ガバナー公式訪問を終えました。会員一同ご訪問を感謝申し上げます。ありがとうございました。



苫小牧東ロータリークラブ

8/17

令和5年8月17日(木) 松浦光紀ガバナー、伊藤嘉英地区幹事、第12グループ高橋康則ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問が開催されました。苫小牧会市グランドホテルニュー王子にて10時30分より会長・幹事を会長エレクト、副幹事、SAA、広報出席のもと、当クラブホームページをプロジェクターを使用し、クラブの特色並びに創立から現在に至るまでの活動報告を御説明させて頂きました。コロナ禍にてここ数年はZOOMでの式典形式となっておりますが、当クラブの最も特色をもつ国際奉仕委員会によるクリスマスドロップ作戦への参画[1952年に始まったアメリカ空軍による世界で最も長く実行されている人道支援(空輸作戦)]について、これまでの当クラブの活動を動画を用い紹介させて頂き、興味深く御覧になられておられました。クラブ協議会では会員増強部門、公共イメージ部門、クラブ管理運営部門、奉仕プロジェクト部門、ロータリー財団部門の各統括より本年度の活動計画案を発表させて頂きました。

通常例会では、松浦光紀ガバナーによる卓話を頂き、例会終了後は参加者全員による記念撮影をし、無事公式訪問を終えることが出来ました。長時間に及ぶ当クラブへの公式訪問誠に有難う御座いました。今回の御訪問を期に更なるより良き活動の幅を広げてまいる決意で御座います。



札幌ライラックロータリークラブ

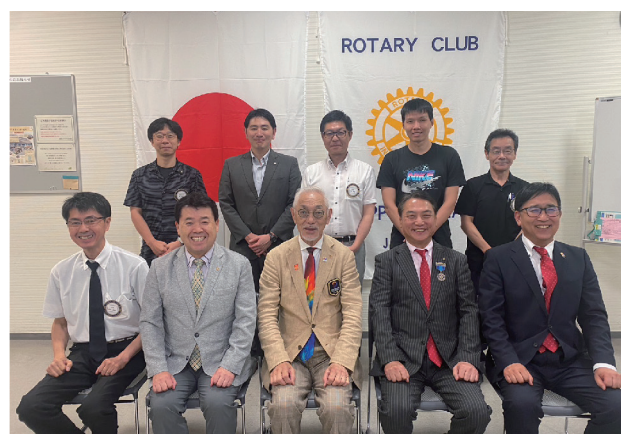
8/18

令和5年8月18日(金)札幌ライラックRCにおいて、松浦光紀ガバナーをお迎えしての公式訪問が行われました。例会前に行われた【会長・会長エレクト・幹事懇親会】においては松浦ガバナーのほか、山口ガバナー補佐・斎藤地区代表幹事にもお越しいただいており、会員増強の方法やクラブ運営など具体例を示し多くの貴重なアドバイスをいただき大変参考になりました。現在少ない会員数の中で、各委員会の役割を見直しある程度統合しチーム化することで、運営の負担を減らしていくようにしてはどうかとの提案を頂きました。

午後6:30より、訪問頂いた皆様とともに例会は始まりました。ロータリーソングの斉唱のあと、米山奨学生の楊さんに奨学金をお渡し致しました。当クラブの佐藤暢康会員のお誘いで奥田悠太氏の入会希望を報告し、地区の皆様を紹介することが出来て何よりに思います。松浦ガバナーより『地域に希望を育てよう』について、クラブにおいては戦略計画をしっかりと立てて時間をかけて活動内容を練り上げ、会員の皆様がやりやすい環境を工夫して下さいとお話しして頂きました。他にも様々な地区方針についての内容をしっかりと学ぶことができましたので、会員自らが豊かな人生となるようなクラブの活動を実施してまいりたいと思います。財政状況の改善を図るため会費の増額を実行したことに触れて頂き、評価を頂きました。

例会終了後、記念撮影を行い和やかに終了し有意義な例会となりました。『小さな一歩が明日の希望と未来を作る』とのクラブテーマを掲げ、「次の例会が楽しみで待ち遠しい」と皆様に思っていただけるクラブを目指して、ひとつひとつの取り組みにチャレンジしていきたいと思えます。

本日参加の皆様には、公式訪問の成功に尽力して頂き本当にありがとうございました。



長沼ロータリークラブ

8/21

8月21日(月)、松浦光紀ガバナー、斎藤仁地区代表幹事、前田利和ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

午後4時30分からの会長・幹事会、引き続いてのクラブ協議会、公式訪問記念例会では、クラブ創立当初から長沼町や町教育委員会、町内各学校と連携し、青少年交換学生や米山奨学生などの協力も仰ぎながら国際交流フェスティバルや新世代会議を開催してきたことは、ガバナーが重点を置かれている青少年奉仕の充実、地域性・公共性を高めること、ロータリー活動を地域の人に知ってもらうことに既に繋がっており、30年前から継続してきたことが素晴らしいとのお言葉をいただきました。今後もこの方針は変わらず継続し、会員増強に繋げていく所存です。最後に、大変蒸し暑い中、松浦ガバナー、斎藤地区代表幹事、前田ガバナー補佐のご訪問にあらためて感謝申し上げ、ガバナーはじめ皆さまがこの後の公式訪問も暑さに負けずに無事乗り切っていただけますよう、祈念いたします。



札幌モーニングロータリークラブ

8/23

前日の8月22日(火)17:00から会長・幹事懇談会、18:00からクラブ協議会に始まり、その後、場所を変えての懇親会、翌23日(水)7:30からセンチュリーロイヤルホテル20Fで、松浦光紀ガバナー、藤城英明ガバナー補佐、拜田昇地区幹事のお三方にご列席を賜り、交換留学生のヘレンさん、池田地区青少年交換委員長、鈴木地区学友会委員長、ホストファミリーの小野寺さんの計7名のゲストお招きしての公式訪問が開催されました。

好天の爽やかな景色を満喫しながらラジオ体操から始まるいつものスタイルで、和やかにスタートしました。新会員の廣田勝利氏の入会式でもありましたので、松浦ガバナーより会員バッジをつけていただきました。

当クラブの継続事業である「カミネッコン植育樹事業」「インターアクト支援事業」やメンバーが若くて温かく雰囲気がいいと賛辞を賜りました。同時に男性のみのクラブゆえ、女性が興味を持てる事業を考えてはどうか、せっかくの素晴らしい事業を公共イメージ向上の観点からターゲットを明確にし、どのようなテーマでどこの媒体を使って知らしめるかを考えるよう叱咤激励を頂戴しました。

今出来ることと時間をかけて成すべきことを精査し、少しでも理想に近づけるよう精進してまいります。例会の結びに松浦ガバナーを中心にゲスト全員に入ってください記念撮影を撮り、あっという間の例会終了となりました。

大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。ご多忙の中、ご訪問いただき誠にありがとうございました。



新会員のご紹介



岩見沢 RC
中尾 竜実

令和5年7月27日
普通銀行



苫小牧東 RC
堀 暢希

令和5年8月24日
不動産業

※入会日順

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌西北RC 西岡 憲廣 会員（4回）7月13日
苫小牧東RC 斎場 利江 会員（1回）7月27日
苫小牧北RC 菅野 秀俊 会員（1回）7月25日
苫小牧北RC 谷岡 裕司 会員（7回）7月25日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌北RC 藤城 英明 会員（6回）7月3日
札幌西北RC 菊田 等 会員（1回）7月2日
札幌東RC 大友 累 会員（7回）7月3日

ポール・ハリス・フェロー

滝川RC 畠山 かおる 会員 7月25日
滝川RC 峯村 征秀 会員 7月25日
苫小牧RC 西川 良雄 会員 7月14日
苫小牧東RC 水野 博 会員 7月27日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol. 281

2023年8月15日
発行

1. 「再会 in 関東」開催 過去最多の1,000人超え

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」（主催：関東10地区米山学友会）が8月5日、つくば市国際会議場で開催されました。また、前日には前夜祭、6日にはつくば市内で文化体験バスツアーが行われました。今回つくば市が開催地となった背景に、世界最大級のサイエンスシティが、勉学を目的に来日した経験を持つ米山学友が集うのに相応しい都市であるだけでなく、東日本大震災の被災地でもある地で大きな集いを開催することで、地域貢献・活性化に繋がりたい、という実行委員会の思いがあります。その思いの通り、世界38カ国の米山学友と現役奨学生638人、ロータリアン447人、その他家族などを含め、登録者数は総勢1,209人となり、広い会場は超満員となりました。



世界各国から集結した米山学友たち

同日午前中には、各学友会の活性化を目指したポスター、キャリアデザイン支援を目的とするビジネスポスターが会場内の壁面いっぱい飾られ、当会役職理事や主催の関東10地区ガバナーの審査により、優秀作品に選ばれた作品には、式典内で目録が贈られました。また、「米山フェスティバル」と題し、各国のお菓子を持ち寄り、交流の時間が設けられました。

14時半から本大会式典が開始。オープニングセレモニーでは、第2回世界大会「絆 in モンゴル」実行委員長のジャンチブ・ガルバドラッハさん（1998-99/山形北RC）から、「再会 in 関東」実行委員長のパクサギョクさん（2006-08/岸和田RC）へ米山世界大会シンボルの引き渡しが行われました。当会の若林紀男理事長、韓国学友会の全炳台会長（1980-83・91/仙台



朴実行委員長（左）へ引き継がれた大会のシンボル

北RC）、つくば市市長の五十嵐立青氏から、祝辞が述べられました。

今大会の開催に向けて、主催の関東10地区学友会ではチャリティー奉仕リレーとして募金活動を行い、集まった寄付金407,381円は、子供の貧困問題に取り組むNPO法人Learning for Allの山村卓矢氏へ手渡しされました。

「米山学友の在り方と世界大会の開催意義」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、ファシリテーターの第2750地区宮崎陽市郎ガバナーと米山学友5人が登壇し、奨学生時代の思い出や、当事業への思いが語られました。その後、今年7月から活動を開始した第5代よねやま親善大使3人による自己紹介、米山梅吉記念館についての紹介を挟み、百人合唱祭ではテーマソングである「米山の絆」の大合唱が行われ、会場は熱気に包まれました。



ステージで「米山の絆」を合唱

会場を移して迎えた第二部の懇親会では、ベトナムやミャンマー、国内学友による民族舞踊、ダンスパフォーマンス、演奏や合唱が次々に披露され、笑顔で溢れた会場は、大盛り上がりそのまま閉幕となりました。

次回の第4回となる世界大会の開催地は台湾に決定。2026年6月に開催予定です。

2. 2024 学年度 奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で563キャンパス（前年度569キャンパス）。指定校からの被推薦者数は1,789人（同1,901人）で、この中から新規奨学生約610人が選ばれます。今回、初指定校は6校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、14地区（同13地区）39

校（同33校）となりました。各地区米山奨学委員会では毎年、学校説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に合う多様な人材を採用しようと努力しています。

当会からは8月4日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています

3. 寄付金速報 —2023-24 年度も好調にスタート—

前年同期比

+ 47.3%

普 - 0.8% 特 + 177.4%

2023-24年度の最初の月となる7月の寄付金は約3億1,100万円でした。前年度と比べて約47.3%増（普通寄付金：0.8%減、特別寄付金：177.4%増）、約9,990万円の

増額となりました。前年度より1億円近くの増額となったのは、年初早々に1億円の高額寄付をいただいた結果です。また、100万円以上のご寄付が個人・法人合わせて6件ありました。ご寄付いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

4. 北海道米山学友会が3年ぶりに総会開催

北海道米山学友会の総会が7月22日、札幌市内のホテルにて開催されました。同地区学友会はコロナ禍や会員数の不足により、しばらく活動を休止していましたが、約3年ぶりの総会開催となりました。当日は、準会員を含む12人の学友会員、16人のロータリアンの総勢28人が参加しました。

総会では、2022-23年度の事業報告、収支決算報告、2023-24年度の事業計画、収支予算案



などが協議され、終了後に懇親会を開催。久しぶりの再会を喜びました。

同学友会の朴^{パク}炫^{ヘン}珍^{ジン}会長

（2014-15/札幌西RC）は、

「繋がりを保つ、という大きな

役割を持つ学友会活動ができなかった期間は、非常に辛かったです。今後時間をかけて元の状態に戻すために、ロータリアンの力を借りながら、ロータリアンと米山学友の関係・繋がりを強化していきます。私たちの活動を温かく見守り、ぜひ応援してください」と述べました。

米山学友と再会

ホームカミング制度をご活用ください

活躍する米山学友を各地区が毎年度上限2人までを選び、地区の行事に招待して、地区内のロータリアンへその活躍ぶりを披露していただく制度です。申請条件がありますので、以下詳細ページにてご確認ください。地区が誇る学友を一人でも多く見出し、米山奨学事業の意義を広めるとともに、学友との絆を深める制度としてご活用ください。

詳細ページ





第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 今井 高志 (弘前 RC)

第一地域ロータリーコーディネーター補佐(ARC)の今井高志(弘前 RC)です。橋岡久太郎 RC を補佐する立場で、担当地区は第 2830 地区(青森)、第 2540 地区(秋田)、第 2800 地区(山形)、第 2560 地区(新潟)となっています。

昨年度を振り返ると、GETS や地域リーダー会議等の会議には出席したものの、他地区に出向いての支援活動は出来ませんでした。唯一、第 2540 地区の淡路ガバナー(当時は DGE)から、地区研修協議会で話をしたいと要請がありましたが、日程が合わず、橋岡 RC にお願いしてしまいました。

RC(含む ARC)の大事なミッションとして「会員増強」がありますが、我が第 2830 地区を例に検証してみたいと思います。

第 2830 地区の会員数は、本年 7 月 1 日現在で 1103 名です。2011 年の東日本大震災の頃から 1200 名を切り、当時のガバナーが「ミラクル 1200」というスローガンを掲げ、その後も 1200 名まで戻そうと必死に取り組んできました。

私がガバナー(2018-19 年度)の時も会員増強について「各クラブ 1 名以上増強、とくに 40 歳未満の若者と女性」を掲げ、「会員が増えればクラブが活性化し、資金も増え、さらなる奉仕活動ができ公共イメージが上がる、公共イメージが上がれば、一緒に奉仕活動をやってみようという会員が増えるはず」と言ってきました。

1100 名を切ると他地区と合併させられるかもという危機感から一時 1200 名を超えた年度もありましたが、結局、毎年 70~80 名の新会員が入っても、同じかそれ以上の退会者が出て、ここ数年は 1100 名前後となっています。

いろいろ取り組んできて結果が伴わないのは、取組方法が間違っているのかとったりするが、恐らく「質と量の掛け算の面積」が足りないのだろうと思う。つまり、「入会勧誘の声かけをする」という方法は間違っていないが、単に「ロータリーに入って」だけでは入会してくれない。「ロータリーに入れば、どんな良いことがあるのかを、実体験をもとに話をする」という質を上げて、しかも「たくさんの方に声を掛ける」という量も増やし、面積を上げる必要があります。

ただ、私も含めかなりの方が、会員増強=新入会員と思っていました。もちろん、新入会員を増やすことは大事ですが、同時に退会者を減らすことを考えないと、会員減少という現状を打破できません。入会して程なく、「入会して良かった」と思ってもらえるクラブにしていかなければならないと思います。

そのためには、クラブに DEI を取り入れなければなりません。多様な方を受け入れて、みんなを公平に扱ってくれて、何より一人ひとりの居場所があるクラブ、そして本心からお勧めできるクラブになれば、新入会員は増え、退会者は少なくなると思います。ぜひ、そんなクラブ作りを目指していきたいです。

3地域合同「公共イメージ向上オンラインセミナー」報告



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 寺嶋 哲生 (柏 RC)

2023年7月23日 Zoomにて3地域合同による「公共イメージ向上セミナー」が開催されました。各地区ガバナーや公共イメージ向上委員長始め、地域コーディネーターと同補佐、日本事務局を含む総勢約150名の参加を頂きました。

冒頭、佐藤芳郎 RI 理事から「日本のロータリー会員数は、下げ止まった感がある。ポリオ根絶・クリエイトホープに因んだ行事を行って地区とクラブ活性化の一助とし、ロータリーを育てよう」と、呼びかけられました。次いで、R1 田中久夫 ARPIC から「公共イメージを向上させる目的と期待される効果」・R3 簡仁一 ARPIC から「ロータリーブランドとロゴの重要性」と題し、示唆に富む講話を頂きました。

更に「クラブ活性化につなげるために」と題し、R2 桑澤一郎 ARPIC から「日本のロータリーとしてのポータルサイトの設置と登録依頼」について、R3 深尾兼好 ARPIC から「世界ポリオデーフォトコンテスト」についての説明を頂きました。

続いて「世界ポリオデーに向けての計画発表」として、2590 地区大塚正一公共イメージ委員長から「第2回世界ポリオデーJR桜木町駅前広場」・2660 地区貴島陵太郎実行委員長から「END POLIO NOW チャリティーハロウィンパーティー」・2680 地区田中正喜公共イメージ委員長から「ポリオデーIN 神戸まつり」・九州4地区を代表し田村香代子公共イメージ部門長から「九州4地区合同 CREATE HOPE プロジェクト・いっしょにやろう」についての紹介を頂きました。

質疑応答の時間では、2760 地区伊藤靖祐 RRFC から各地区における事業予算の調達についての問いかけがあり、夫々の地区からは様々な工夫と苦勞についての率直な回答がありました。

セミナーの最後に三木明 R 財団管理委員会委員から講評を賜り、充実したセミナーを実施した主催者に対する謝辞と共に、ローターアクターである 2660 地区貴島陵太郎実行委員長に対し、今後の更なる活躍を期待する旨の激励がありました。

結びに、R3 丸尾研一 RPIC から「ポリオ根絶に決意を新たにした」との言葉を頂きました。

参加者からは、公共イメージの向上の必要性に対する理解が進み、ポリオデーの企画立案に関する有益なヒントを得られたなどの感想が寄せられ、充実したセミナーを実施できたものと思われま

ポリオ根絶と 10 月 24 日世界ポリオデーについて



第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 梶原 等 (千葉 RC)

ロータリーと共にポリオをなくそう。野生型ポリオウイルスにより感染してしまう恐れのある子供たちを一日も早く救い出そうとして 1980 年代に世界的な奉仕プロジェクトとしてロータリーが世界に先駆けて取り組みを開始、以来現在でも、第一優先項目にあげられているのがポリオ根絶活動です。

そして日本のロータリーとしては2年ほど前からエンドポリオの活動とロータリーに対する理解を高めるべく 10 月 24 日の世界ポリオデーに国内を上げてのエンドポリオの周知・募金（寄付）、そしてロータリーの活動を広報するイベントを一斉に開催しましょうという動きが全国各地で開催されるようになりその波は徐々に拡大し昨年はフォトコンテストを取り入れるなどの工夫もなされ各地区のロータリー活動に浸透してきました。

そこでエンドポリオイベントを開催するにあたりいくつかの注意点を確認しましょう。

現代の日本人にはポリオと言ってもピンとこないのが現状です。

まずはロータリアンである私達がポリオを正しく理解しその上でエンドポリオの必要性を PR する事です。

又、寄付は理解者からの支援であり、一般市民から頂く寄付に関しては理解を得られる方からのご奉仕であり強制的にならない様に十分気を付ける事が大切です。更に一般市民の方々には寄付をお願いするよりも世界の中には現在もポリオで犠牲になっている子供たちが沢山いる事を知ってもらう事です。

ロータリーが何故エンドポリオ活動を行っているかという事を理解して頂きエンドポリオが世界中で大切な活動である事を PR していく事です。

広報活動の方法は色々な事が考えられます。市民の方々にポリオを正しく理解して頂ければ寄付もロータリー活動も十分な理解が得られます。

活動や広報の方法として地区全体で行うイベントと同時に各グループ（分区・ブロック）ごとにガバナー補佐を中心に同日、出来るだけ同じ時間帯、地区内各所でエンドポリオイベントを開催する事が効果的です。これは各グループやクラブが地区の要請やお膳立てだけでなく主体的に且つエリアを絞ることにより地元地域の社会にエンドポリオとロータリーを PR する絶好の機会になります。地区主導イベントでは地区委員会がテリトリー内のメジャーな場所で開催し、各グループやクラブは各々のエリアで個々に開催。出来たらオンライン配信を活用し各地を中継で結ぶなどの工夫をすればより一体感が生まれるでしょう。各地区ガバナーを中心に各ガバナー補佐のリーダーシップの下、地区全体が動き出すようなインパクトのあるポリオデーを開催してみませんか。10 月 24 日の世界ポリオデーに向けて地区、グループ（分区・ブロック）各クラブでロータリーの PR、そしてエンドポリオ活動を推進していきましょう。今年度もフォトコンテストを実施します。各地区エンドポリオの活動報告を楽しみにしております。

7月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2023.7.1	2023.7.31	増減	内女性
1	深 川	3	30	29	-1	2
	羽 幌	3	34	34	0	1
	留 萌	5	25	25	0	4
	小 計		89	88	-1	7
2	赤 平	3	19	19	0	2
	芦 別	2	26	26	0	1
	砂 川	4	39	39	0	2
	滝 川	3	85	86	1	6
	小 計		169	170	1	11
3	美 唄	4	19	19	0	1
	江 別	4	34	36	2	1
	江 別 西	4	34	34	0	3
	岩 見 沢	4	87	88	1	1
	岩 見 沢 東	2	12	12	0	1
	栗 沢	3	16	16	0	0
	栗 山	3	24	24	0	4
	当 別	3	26	27	1	2
	小 計		252	256	4	13
4	札 幌	3	119	124	5	2
	札幌はまなす	3	18	21	3	2
	札 幌 北	4	37	37	0	6
	札幌モーニング*	3	36	36	0	0
	札 幌 西	3	47	46	-1	8
	札 幌 西 北	2	38	38	0	6
	札 幌 手 稲	3	34	34	0	3
	小 計		329	336	7	27
5	札 幌 東	3	109	109	0	1
	札 幌 清 田	2	11	11	0	3
	札 幌 幌 南	4	59	61	2	4
	札幌真駒内	3	21	21	0	6
	札 幌 南	4	82	82	0	5
	札幌大通公園	2	12	12	0	3
	札幌ライラック	2	10	10	0	1
	新 札 幌	2	25	25	0	6
	小 計		329	331	2	29
6	岩 内	2	24	24	0	1
	俱 知 安	2	32	33	1	3
	小 樽	4	74	76	2	5
	小 樽 南	4	52	52	0	3
	小 樽 銭 函	3	11	11	0	1
	蘭 越	2	9	9	0	0
	余 市	4	38	38	0	3
	小 計		240	243	3	16

7月会員数増減

クラブ数	69
機種会員数	2,361人
当月末会員数(女性)	2,398人(185人)
増加会員数	37人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2023.7.1	2023.7.31	増減	内女性
7	千 歳	3	74	75	1	12
	千歳セントラル	3	44	44	0	10
	恵 庭	4	45	45	0	3
	北 広 島	3	15	16	1	1
	長 沼	3	15	15	0	3
	由 仁	2	7	7	0	0
	小 計		200	202	2	29
8	え り も	2	16	16	0	1
	三 石	3	11	11	0	0
	様 似	3	12	12	0	2
	静 内	3	59	59	0	4
	浦 河	3	16	18	2	2
	小 計		114	116	2	9
	9	伊 達	3	59	59	0
室 蘭		3	29	32	3	2
室 蘭 東		4	26	28	2	2
室 蘭 北		4	49	49	0	2
登 別		4	25	25	0	2
洞 爺 湖		2	10	10	0	1
小 計			198	203	5	11
10	函 館 館	4	63	70	7	2
	函 館 亀 田	3	30	32	2	3
	森	2	35	35	0	1
	七 飯	4	14	14	0	0
	長 万 部	3	9	9	0	0
	函館セントラル	3	22	23	1	2
小 計		173	183	10	8	
11	江 差	2	9	9	0	0
	函館五稜郭	4	56	57	1	1
	函 館 東	3	35	36	1	7
	函 館 北	1	11	11	0	1
	北 斗	4	11	11	0	0
	小 計		122	124	2	9
12	白 老	3	29	29	0	3
	苦 小 牧	4	59	59	0	3
	苦 小 牧 東	4	32	32	0	8
	苦 小 牧 北	3	26	26	0	2
	小 計		146	146	0	16
合 計		2,361	2,398	37	185	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員0名)を含む
 ※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数9名(内女性会員3名)を含む
 ※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数8名(内女性会員0名)を含む

「ガバナーノミネーの広場」開設のご案内

拝啓 新秋の候、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素はロータリー活動にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

新年度もスタートして、はや2ヶ月が過ぎ、活発なクラブ運営や奉仕活動を熱心に取り組まれておられることと推察いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響も一昔前のように感じられ、平時に戻ってクラブ例会も活性化しているなか、最近のロータリーは会員減少が止まらない状況が続き、会員増強に頭を悩まされておられる会長・幹事様はいらっしゃいませんか。

本来、会員の「人間力」のスキルアップをはかるはずの自己研鑽の場である例会もマンネリ化となり、悩んでいる会長・幹事様はいらっしゃいませんか。

また、大切なロータリー理念を新会員に、どう伝えれば良いのか悩んではいませんか。

2025-26年度のガバナー就任に向け、地区がクラブに対し、より良いサポートが出来るよう、当該年度の会長・幹事予定者様や現会長・幹事様、また、会長・幹事エレクトの皆様と共に国際ロータリーや地区に対するご意見やご要望を、気軽に ZOOM にて語り合える場として「ガバナーノミネーの広場」を開設することといたしました。現況報告など堅苦しいお話しではなく、気軽に笑いながら、そして真剣に語り合い、2年後の地区運営の参考にしたいと思っております。

つきましては、下記日程にて ZOOM によるオンライン形式の「ガバナーノミネーの広場」にてお待ちしておりますので、お気軽にご参加くださいませ。

敬具

【日 時】 2023年10月 4日 (水) 18:30~20:00
2023年12月12日 (火) 18:30~20:00
2024年 2月21日 (水) 18:30~20:00

【ZOOM参加 URL】 <http://bfnet.jp/ri2510/governor-nomminee/>

【参 加 者】 クラブ会長・幹事
クラブ会長エレクト・幹事エレクト
クラブ会長ノミネー・幹事ノミネー
ガバナー及び地区幹事
ガバナーエレクト及び当該年度地区幹事
ガバナーノミネー及び当該年度地区幹事
ガバナー補佐、ガバナー補佐エレクト
地区クラブ奉仕委員会

運営担当：地区クラブ奉仕委員会 松下早苗副委員長 番場優委員

参加は自由です。



1日目
グランドパークホテル
 小樽市築港 11-3 TEL.0134-21-3111

- 13：00 会長・幹事会
- 14：30 地区指導者育成セミナー
- 17：30 R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



2日目
小樽市民会館
 小樽市花園 5-3-1 TEL.0134-25-8800

- 9：00 本会議
- 10：00 スパウス
記念講演会
- 15：30 地区大会記念懇親会
(グランドパーク小樽)

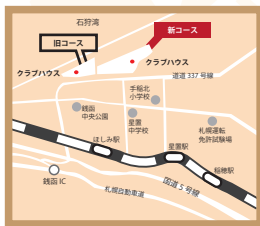


記念ゴルフ大会
 小樽カントリー倶楽部 TEL.0134-62-5051

スタート 8：00
 登録料 6,000 円

登録料

- ◇会員 18,000 円
- ◇ご家族 10,000 円
- ◇インナーホイール 12,000 円
- ◇R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 15,000 円



小樽カントリー倶楽部



グランドパーク小樽



小樽市民会館

2023～2024年度 国際ロータリー第2510地区

地区大会事務局

〒047-0004
 小樽市新富町13-13 株式会社K2内
 TEL 090-5225-1823 (斎藤 仁 地区代表幹事)
 FAX 0134-64-5388
 MAIL otaru.s.rc2023@gmail.com

地区カレンダー9・10月

9月 基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間	
1 (金)	
2 (土)	小樽RC創立90周年記念式典(小樽)
3 (日)	
4 (月)	公式訪問(蘭越RC)
5 (火)	公式訪問(小樽RC、千歳セントラルRC)
6 (水)	公式訪問(倶知安RC)
7 (木)	公式訪問(岩内RC、小樽銭函RC)
8 (金)	
9 (土)	
10 (日)	RLIセミナー パート I
11 (月)	公式訪問(三石RC)
12 (火)	公式訪問(様似RC、浦河RC)
13 (水)	公式訪問(静内RC)
14 (木)	公式訪問(千歳RC、由仁RC)
15 (金)	
16 (土)	～17日(日) 米山奨学生研修旅行(滝川予定)
17 (日)	
18 (月)	敬老の日
19 (火)	公式訪問(札幌西RC、札幌大通公園RC)
20 (水)	公式訪問(室蘭東RC)
21 (木)	公式訪問(室蘭RC、長万部RC)
22 (金)	
23 (土)	秋分の日 地区財団補助金管理セミナー(札幌)
24 (日)	
25 (月)	公式訪問(洞爺湖RC)
26 (火)	公式訪問(岩見沢東RC、札幌はまなすRC)
27 (水)	公式訪問(余市RC)
28 (木)	公式訪問(えりもRC)
29 (金)	
30 (土)	

10月 経済と地域社会の発展月間/米山月間	
1 (日)	
2 (月)	
3 (火)	公式訪問(伊達RC、七飯RC)
4 (水)	公式訪問(森RC)
5 (木)	公式訪問(函館RC、北斗RC)
6 (金)	公式訪問(函館五稜郭RC)
7 (土)	
8 (日)	
9 (月)	スポーツの日
10 (火)	公式訪問(函館セントラルRC、江差RC)
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	地区大会記念ゴルフ大会
14 (土)	地区大会(小樽)
15 (日)	地区大会(小樽)
16 (月)	
17 (火)	公式訪問(北広島RC)
18 (水)	札幌東RC創立65周年記念ゴルフ大会
19 (木)	公式訪問(登別RC)
20 (金)	第8回日台ロータリー親善会議(台北)
21 (土)	
22 (日)	
23 (月)	公式訪問(函館亀田RC)
24 (火)	公式訪問(函館東RC)
25 (水)	公式訪問(恵庭RC)
26 (木)	公式訪問(岩見沢RC)
27 (金)	
28 (土)	
29 (日)	
30 (月)	
31 (火)	公式訪問(室蘭北RC)

2026-2027年度ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 松浦 光紀

地区ガバナー指名委員長 福井 敬悟

2026-2027年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛に指定の書式にてご推薦ください。（書式はガバナー事務所にお問い合わせください）

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会・会員数報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へFAXかメールにて提出するようにお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。地区ホームページ⇒クラブ情報⇒例会変更フォームの順でアクセスできます。（ホームページにアクセスが難しい場合はFAX、メールでお送り下さい）

4. 各月ごとのクラブ会報について

当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

5. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月5日です。（メールでのご連絡にご協力ください）

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL(011)207-2510 / FAX(011)207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp 執務時間: 午前10時～午後5時30分(土・日・祝日休み)

最新ロータリーレートは地区HPをご覧ください

ガバナー事務局だより

松浦ガバナーの公式訪問も二ヶ月が過ぎようとしています。この月信がみなさまのスマホやパソコンに届く頃には、やっと折り返しクラブを迎えそうです。

各クラブからは公式訪問時には、松浦ガバナーはもとより、随行員の私たちにも多大に歓待していただき、とても感謝しております。スタッフのほとんどが、地区役員や他クラブへのメーキャップ経験もない中での随行です。クラブ独自のルール、カラーの違いに新たな発見と勉強をさせていただいております。

松浦ガバナー年度最大事業である地区大会まで2ヶ月を切りました。すでにすべてのクラブにメールにて9月初旬にお知らせしておりますが、今回、入会3年未満の会員に対し、並行プログラムとして「新会員セミナー」を開催することとなりました。

講師には野口英一第2地域ロータリーコーディネーター(2620地区PG)にお越しいただき、ロータリーの楽しさを新会員の皆さまにご講演いただきます。担当は地区新会員研修小委員会にお願いしております。嵯峨地区研修リーダー(PG)、西方委員長には、大変ご尽力いただきました。この場をお借りし、御礼申し上げます。

地区代表幹事 斎藤 仁

編集後記

皆様、こんにちは。9月を迎え、一息つけるかと思われた瞬間ですが、今年の夏は猛暑と多雨で厳しいものがありました。多くの地域で記録的な暑さが観測され、これにより様々な野外活動、例えば野球大会などが中止となる事態も発生しました。そういった状況下でも、第2510地区の各ロータリークラブ及び委員会の皆様が持続的に地域社会への貢献を続けていらっしゃることに、心より敬意と感謝を申し上げます。

秋から新たな活動が始まる時期であり、各クラブが地域と連携しながら貢献を広げています。これからの「ガバナー月信」では、第2510地区の各クラブや委員会の皆様がどのような活動を展開しているのか、その活動を網羅的に取り上げてまいります。

さらに、松浦ガバナーからのメッセージでは、具体的な行動指針や視点を共有し、皆様により一層のインスパイアをお届けできるよう努力してまいります。

引き続き、次号も何卒ご期待ください。

ガバナー月信委員会 中山 仁史

表紙の解説

最後の舳（はしけ）

（旧）日本郵船の前、北運河に最後に残された舳（はしけ）は老朽化のため 2020 年に解体されてしまい、今はもうその姿を見ることは出来ません。

舳とは、小樽運河が完成した当初から昭和初期にかけて活躍した運搬船のことを指します。小樽運河が主に石炭や魚介類といった物資の輸送手段として機能していた頃、舳はその主役でした。運河沿いには多くの倉庫が立ち並び、舳はそれらの倉庫と商船が停泊する海との間で物資を運ぶ役割を果たしていました。

その舳は、もう現在の小樽運河で見ることができませんが、その役割と存在は多くの文献や古い写真で確認することができます。また、多くの作家による絵画の中で数多くの舳が描かれており、今も私たちの記憶と文化に生き続けています。



写真:© 中山 仁史 /K2.

